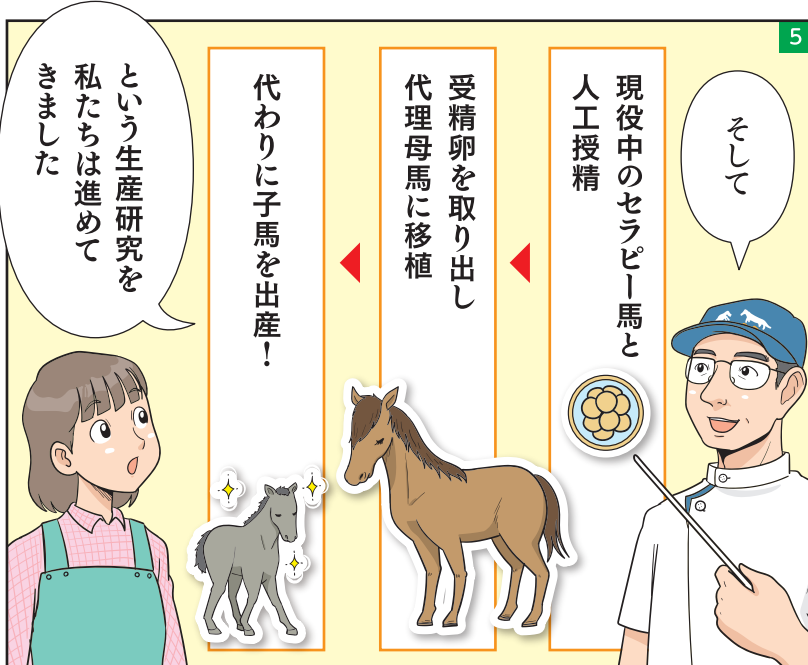
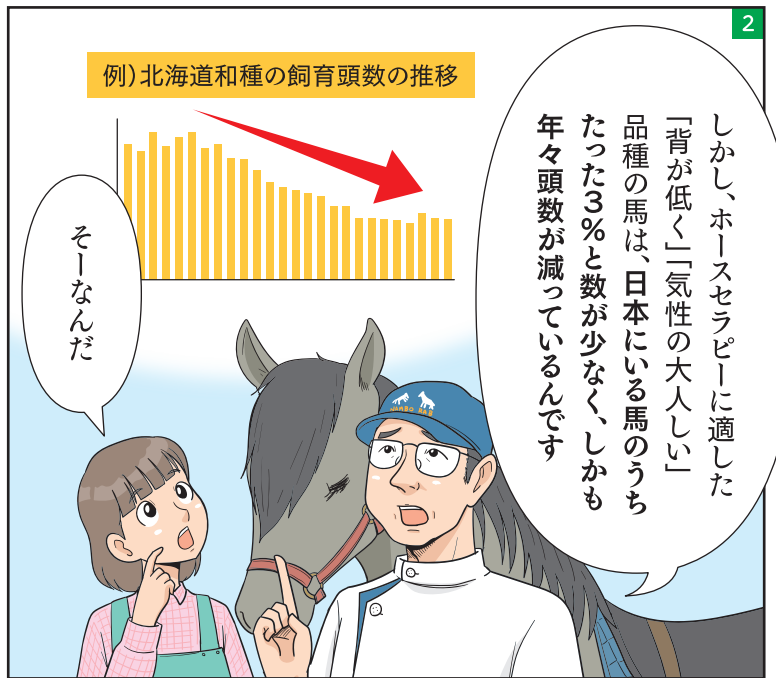
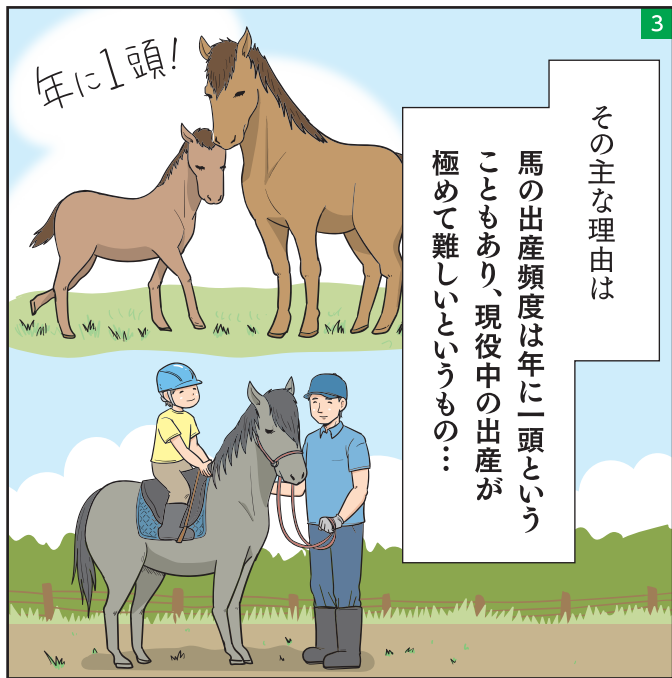
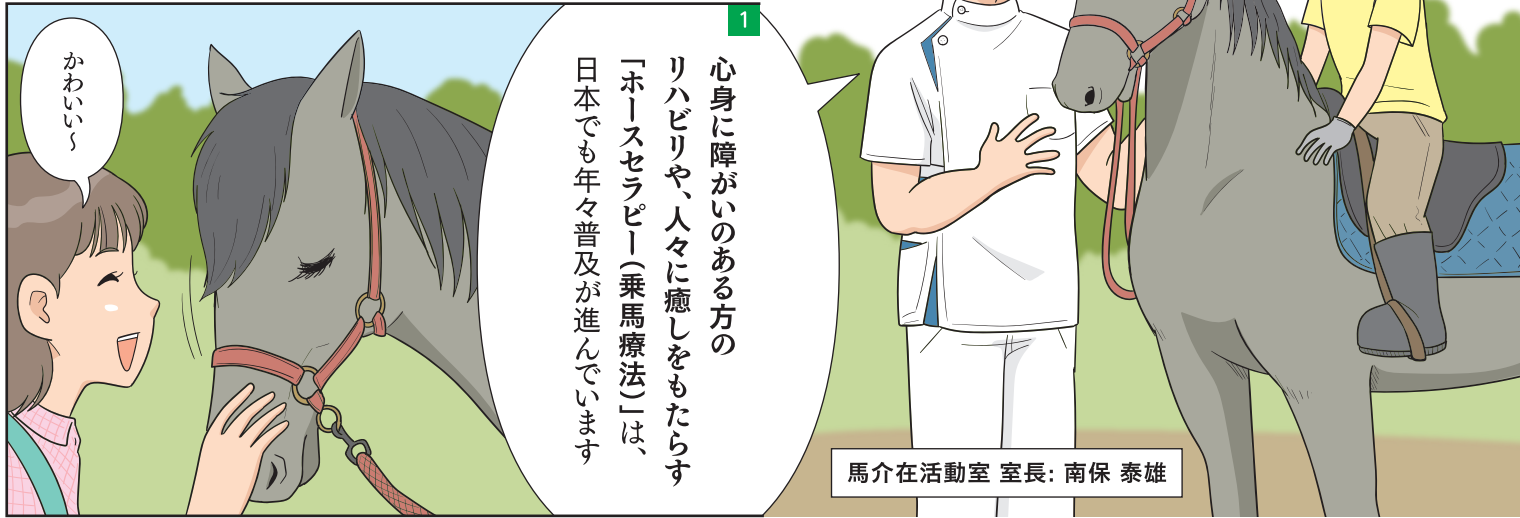


ホースセラピー普及への貢献と 減少する日本馬を守る活動

障がい者や高齢者・初心者に安全な乗用馬の生産研究 令和4年版



国内初の快挙!

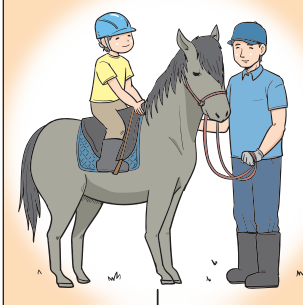
その結果、令和元年には、3頭の全兄弟馬が生まれ、スクスクと元気に育っています

わあ、よかった!

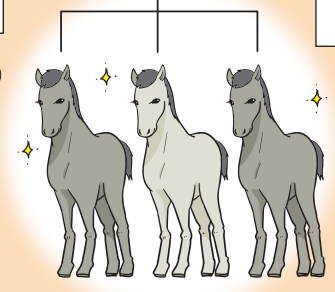


この技術によって、母馬は現役で働きながら

年に何頭ものホースセラピーに適した子馬の誕生が可能になったのです!



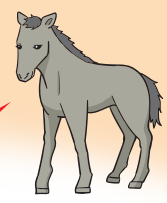
へえ〜



その後も子馬は生まれ続け、令和4年の時点で計10頭に

令和元年に生まれた子馬たちも今ではすっかり大人になりました!

大人に!



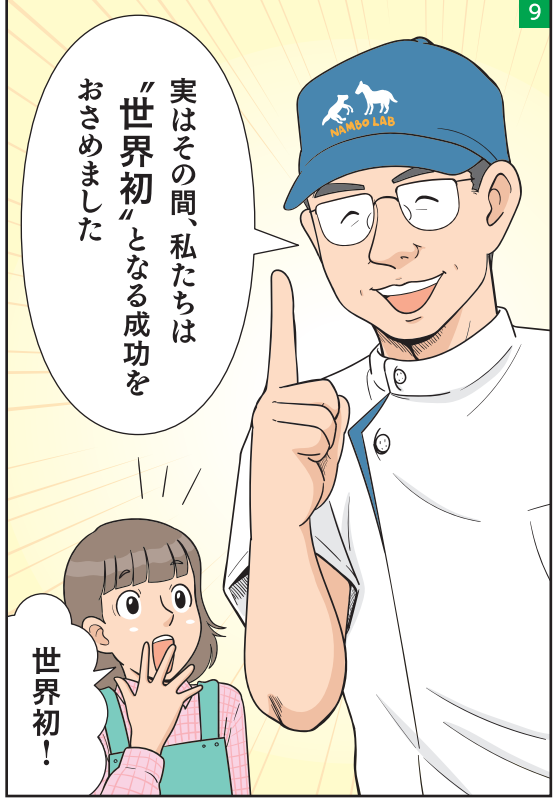
現在では、そこからさらに受精卵を取り出し繁殖に繋げる研究を続けています

もう、お母さんになるんですね!

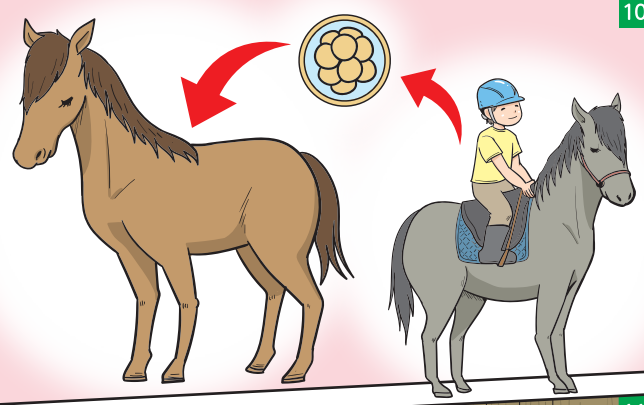


実はその間、私たちは「世界初」となる成功をおさめました

世界初!



ホースセラピーに適した馬の受精卵を取り出して代理母馬に移植する生産方法は



代理母馬の発情周期や健康状態に合わせるため

受精卵の採取と移植の「タイミング合わせが非常に困難」というのが大きな課題でした



そこで、
これまで難しかった
『受精卵の凍結保存』
に挑戦！

馬の受精卵は外側が固く
冷却に耐えうる薬の浸透に
苦労してきましたが、

“レーザー穿孔”を使うことで解決！
冷凍保存に成功しました

これにより、現役馬に負担をかけず
大量の受精卵を凍結保存



代理母馬の状態に合わせて移植でき、
より効率的な繁殖が可能に！



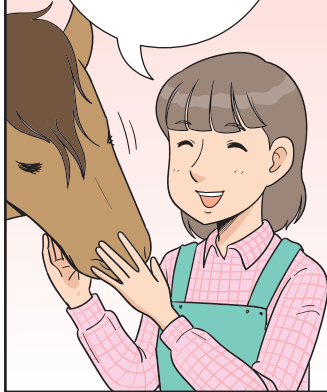
そして、ついに世界初！
レーザー穿孔による
凍結受精卵の移植で

令和3年8月、
無事2頭が出産に成功！

！世界初！

翌年（令和4年）8月にも
2頭の子馬が誕生しました

セラピー馬や
代理母馬の負担も
減りそうですね！



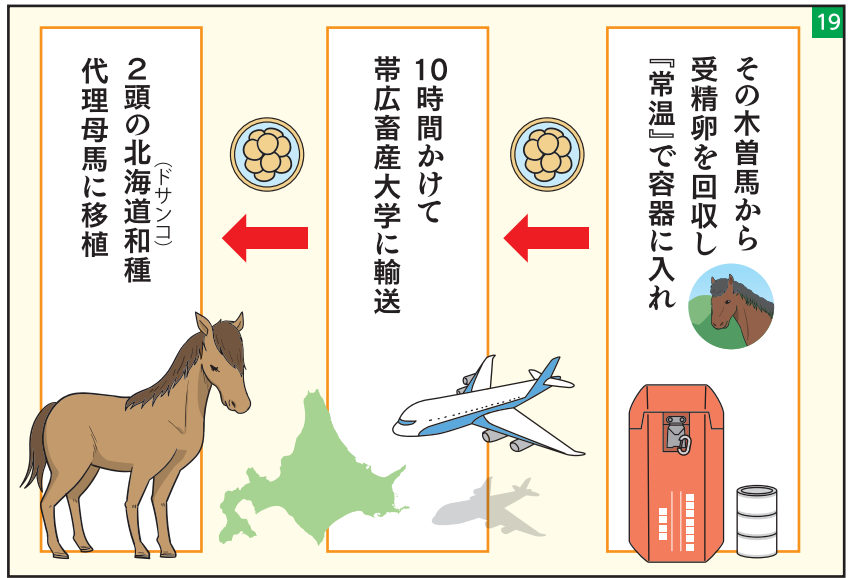
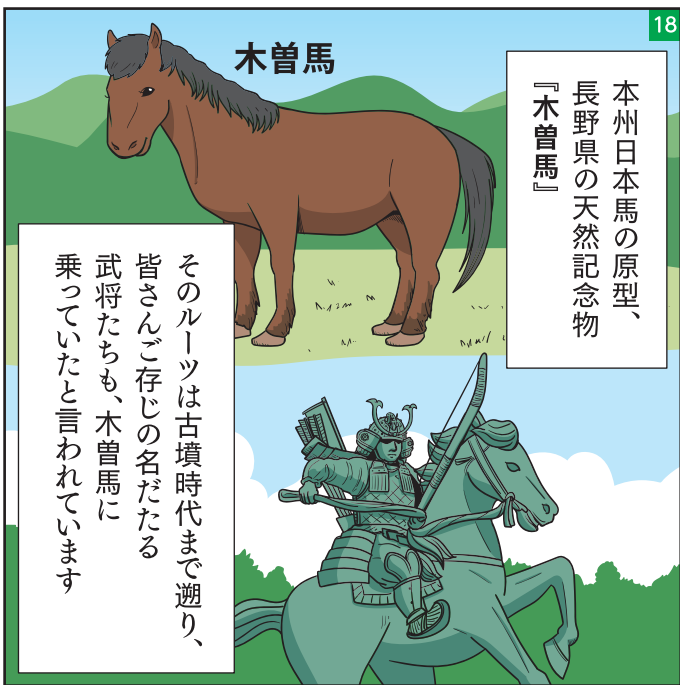
私たちは、今後も
この技術を発展させ、
ホースセラピーに
向いている馬を増やし

心身に障がいがある方や
初心者、高齢者が

もっともっと
馬と触れあう機会を
増やしていきます！

素敵ですね





この取り組みに関するお問い合わせ先

